

ARIBの動き

第25回通常総会が開催される

去る2月21日、ホテルニューオータニにおいて第25回通常総会を開催し、平成20年度の事業計画及び収支予算等について審議し、提案のとおり議決して滞りなく終了しました。

平成20年度も本事業計画に基づき各事業を積極的に推進してまいりますので、会員の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

議決された主な事項の概要は、次のとおりです。

1 平成20年度の事業計画及び収支予算について

平成20年度の事業計画及び収支予算は、次のとおり承認されました。

<平成20年度事業計画書>

第1 方針

通信・放送分野における電波の利用に関する、調査研究、研究開発、電波有効利用試験研究事業、照会相談業務等のコンサルティング、情報提供業務、普及啓発事業、電波利用システムの標準規格の策定、関連外国機関との連絡及び特定周波数変更対策業務を積極的に推進する。



第25回通常総会の様子

大坪会長

第2 事業計画

1 通信・放送分野における電波の利用に関する調査、研究及び開発

(1) 調査研究

第三代移動通信システムの後継システム等の調査研究、デジタル放送の品質評価法の調査研究、電磁環境の技術に関する調査研究等を始めとして、今後の電波利用システムに関する技術動向、需要動向、標準方式等について、広く内外にわたって調査研究を行うとともに、関係機関からの受託調査を行う。

(2) 研究開発

デジタル放送システムの研究開発等を始めとして、電波の有効利用に関する技術の研究開発を行うとともに、電波利用システムに対する需要動向等に基づき新たな電波利用システムの研究開発を行う。

(3) 電波有効利用試験研究事業

関係機関からの委託に基づき次世代移動通信システムの周波数共用技術等の電波のより効率的な利用に資するための技術に関する試験研究を行う。

2 通信・放送分野における電波の利用に関するコンサルティング、普及啓発並びに資料又は情報の収集及び提供

(1) コンサルティング

無線回線の使用可能周波数及び伝搬障害防止に係る照会相談業務等のコンサルティングを実施するとともに、照会相談業務を行うための電子計算システムについて、機器の整備、ソフトウェアの開発等を行う。

(2) 情報提供業務

電波の有効かつ適切な利用に寄与する無線局の周波数及び無線設備等に関する事項について、情報提供業務を行う。

(3) 普及啓発事業

デジタル放送技術等の国際普及活動を始め電波利用システムに関する国内外における普及活動を行うとともに、電波の利用に関する行政方針、電波利用システムに関する標準規格及び技術開発動向等に関する講演会等の開催、ホームページによる標準規格等の情報の提供並びに機関誌・ニュース等の発行を行う。また、電波の有効利用に功績のあった個人又は団体の表彰を行う。

3 通信・放送分野における電波利用システムの標準規格の策定

電波利用システムの研究開発等の成果に基づき、無線機器製造者、利用者等の意向を十分に反映して、各種の電波利用システムの標準規格を策定する。

4 通信・放送分野における電波の利用に関する関連外国機関との連絡、調整及び協力

電波利用システムの調査研究、研究開発等に関する事項について、密接に関連外国機関との連絡、調整及び協力を行う。

5 特定周波数変更対策業務

地上テレビジョン放送のデジタル化を行うために必要な地上アナログテレビジョン放送に係る特定周波数変更対策業務を実施する。

6 特定周波数終了対策業務

特定周波数終了対策業務は、実施しない。

<平成20年度収支予算書>

収支予算書総括表

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位 千円)

科目	合計	一般会計	周波数変更 特別会計	基金特別会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
(1) 会費収入	296,800	296,800	-	-	
(2) 事業収入	1,588,598	1,234,100	354,498	-	
(3) 繰入金収入	0	30,000	-	0	-30,000
(4) 国庫債務負担行為交付金収入	4,885,560	-	4,885,560	-	
(5) 特定資産運用収入	30,000	-	-	30,000	
(6) 雑収入	1,300	100	0	1,200	
事業活動収入計 (A)	6,802,258	1,561,000	5,240,058	31,200	
1 事業活動支出					
(1) 事業費支出	6,179,270	1,293,710	4,885,560	-	
(2) 金融費支出	354,498	-	354,498	-	
(3) 管理費支出	364,800	364,800	-	-	
(4) 繰入金支出	0	-	-	30,000	-30,000
事業活動支出計 (C)	6,898,568	1,658,510	5,240,058	30,000	
事業活動収支差額 (A)-(C)	-96,310	-97,510	0	1,200	
II 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
(1) 敷金戻収入収入	0	-	-	0	
(2) 特定資産取崩収入	195,000	-	-	195,000	
(3) 繰入金収入	145,000	195,000	-	145,000	-195,000
投資活動収入計 (A)	340,000	195,000	0	340,000	
1 投資活動支出					
(1) 特定資産支出	146,200	-	-	146,200	
(2) 繰入金支出	145,000	145,000	-	195,000	-195,000
投資活動支出計 (C)	291,200	145,000	0	341,200	
投資活動収支差額 (A)-(C)	48,800	50,000	0	-1,200	
III 財務活動収支の部					
1 財務活動収入	0	0	-	0	
財務活動収入計 (A)	0	0	-	0	
1 財務活動支出	0	0	-	0	
財務活動支出計 (C)	0	0	-	0	
IV 予備費支出	52,490	52,490	-	0	
前期繰越収支差額	100,000	100,000	0	0	
当期収支差額	-100,000	-100,000	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	0	

注 周波数変更特別会計は特定周波数変更対策業務特別会計を示す。

2 補充役員の承認について

理事会において選任された3名の補充役員が、総会の承認を受けました。

役職	氏名	現職	
理事	佐藤 国彦	日本ビクター株式会社	(19.7.27選任)

		代表取締役社長（寺田雅彦前理事の後任）	
理事	三浦 惺	日本電信電話株式会社 代表取締役社長（和田紀夫前理事の後任）	(19.7.27選任)
理事	福地 茂雄	日本放送協会 会長（橋本元一前理事の後任）	(20.2.18選任)

3 補欠役員の選任について

平成19年7月31日付けで辞任した重田憲之理事の後任として、次のとおり選任されました。

役職	氏名	現職
理事（常勤）	関口 潔	社団法人電波産業会 参与 (元 独立行政法人情報通信研究機構執行役)

(任期は、平成20年4月1日から平成21年6月30日まで)

ARIBからの お知らせ

第69回規格会議開催のお知らせ

下記のとおり第69回規格会議を開催いたします。規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成20年3月19日(水) 午後3時から5時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 望星の間（霞が関ビル33階）
東京都千代田区霞が関3- 2- 5

なお、議案はARIBホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「お知らせ」に掲載していますのでご参照ください。

編集後記

3月となり、これからしだいに春らしくなっていく季節となりました。ちなみに3月5日は24節気の啓蟄（けいちつ）にあたり、地中で冬ごもりしていた虫が春の到来を感じ、草木が芽吹くと同時に地上へ這い出してくるという意味だそうです。虫達だけでなく、我々人間も春が待ち遠しいと感じるのは、同じ生き物だからでしょうか。

2月は関東地方の沿岸部にも思わぬ積雪があり、気温も平年より低目だったようですが、気象庁の1ヶ月予報によると、3月は平年並みか高目になりそうだという事です。先日、日比谷公園を散策しましたが、梅はすでに満開となっていていい香りを漂わせていました。気象庁の予報が当たれば、一気に春の訪れを感じるようになるかも知れません。

ただこの季節は寒暖の激しい時期でもあります。移動性高気圧や低気圧がたびたび日本付近を通過するため、天気も周期的に変化するようです。高気圧に覆

われ穏やかな陽気となることもあれば、その一方で低気圧が日本付近で急速に発達し、その後冬型の気圧配置が強まって真冬に逆戻りすることもあるようですので、体調管理には十分注意してください。

ところで、これから花見の話題も出てくると思いますが、去年の気象庁の開花予想は大外れでしたね。開花予想日を過ぎても開花せず、まだつぼみ状態の所もあったと記憶しています。今年はどうなるかわかりませんが、花見を予定される方は、開花予想は参考程度とし、あまり過信しない方がいいかと思えます。

ともあれ、私は春の息吹を感じるこの時期が大好きなのですが、花粉症の方は悪しからずご容赦を。

(N.K.)

[ページの先頭に戻る ▲](#)